

(1) 5 ページ 市民の視点からみた市民協働のまちづくりの現状と課題 ①
(修正前)

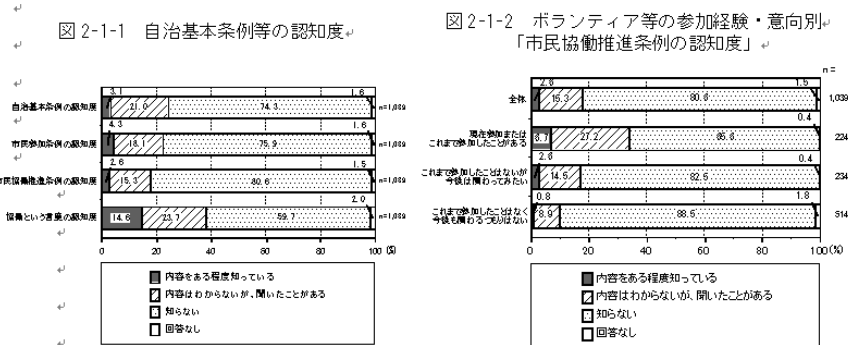
市民の視点からみた市民協働のまちづくりの現状と課題	
①自治基本条例や市民協働推進条例等の認知度は低水準にとどまっており、認知度の向上が課題 (図 2-1-1、図 2-1-2)	
②潜在的なボランティア・NPO参加需要者は約4割あり、この顕在化が課題	

(修正後)

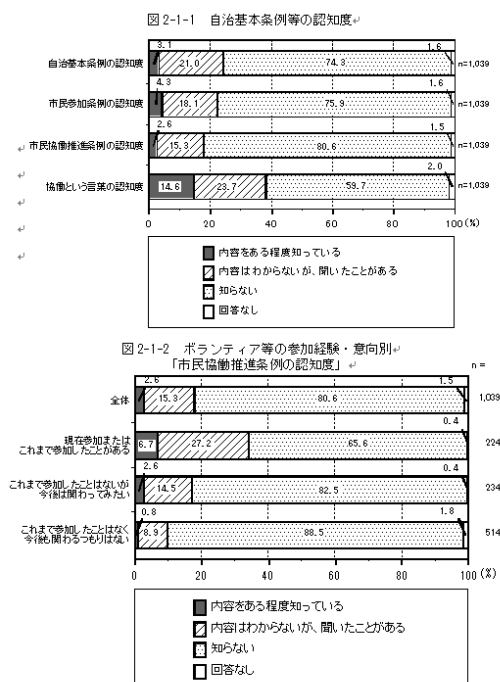
市民の視点からみた市民協働のまちづくりの現状と課題	
①市民協働に関する知識や理解を深めるためには、引き続き市民活動への参加の機会を提供し続けることが必要 (図 2-1-1、図 2-1-2)	
②潜在的なボランティア・NPO参加需要者は約4割あり、この顕在化が課題	

(2) 6 ページ 図 2-1-1, 2-1-2 の並び

(修正前)



(修正後)



(3) 22 ページ ④タイトル中
(修正前)

④「**人材育成の実施**」に対する支援要望がこの4年間で大きく拡大しており、
「市民活動団体同士を結びつけ協働を作り出すことのできる人材を養成する講座」等のより一層の充実が課題。

NPOやボランティア団体に対する支援としては、「経済的支援（補助金等）」、「団体の活動を支援する機能や活動拠点」もさることながら、「市民活動の担い手の
(修正後)

④「**人材育成の実施**」に対する支援要望がこの4年間で大きく拡大しており、
「市民活動団体同士を結びつけ協働を作り出すことのできる人材を養成する講座」などのより一層の充実が課題。

NPOやボランティア団体に対する支援としては、「経済的支援（補助金等）」、「団体の活動を支援する機能や活動拠点」もさることながら、「市民活動の担い手の

(4) 22 ページ ⑤市民交流センターの機能の充実と利用促進が課題 1行目
(修正前)

⑤**市民交流センターの機能の充実と利用促進が課題。**

その一方で、市民活動の拠点である市民交流センターを「利用していない」という団体は4年前の25.7%から38.7%に増加しています（図2-3-9）。」

このため、市民交流センターが市民活動団体にとってより魅力的で利用したくな
(修正後)

⑤**市民交流センターの機能の充実と利用促進が課題。**

市民活動の拠点である市民交流センターを「利用していない」という団体は4年前の25.7%から38.7%に増加しています（図2-3-9）。」

このため、市民交流センターが市民活動団体にとってより魅力的で利用したくな

(5) 23 ページ ⑥市民活動団体と地域団体など多様な協働関係が生まれる
ような支援が課題 5 行目

(修正前)

⑥市民活動団体と地域団体など多様な協働関係が生まれるような支援が課題

今後、他団体との協働を進めたいという市民活動団体は、51.1%います（図2-3-10）。多様な主体同士の協働は相乗効果を生むことが期待されることから、市民活動団体同士や地域団体同士、市民活動団体と地域団体をマッチングするような機会の充実とマッチングする人材の確保を図ることが求められます。

(修正後)

⑥市民活動団体と地域団体など多様な協働関係が生まれるような支援が課題

今後、他団体との協働を進めたいという市民活動団体は、51.1%います（図2-3-10）。多様な主体同士の協働は相乗効果を生むことが期待されることから、市民活動団体同士や地域団体同士、市民活動団体と地域団体をマッチングする機会の充実とマッチングができる人材の育成・確保を図ることが求められます。

(6) 35 ページ (1) 市民活動の拠点施設と支援機能の充実 1 行目

(修正前)

(1)市民活動の拠点施設と支援機能の充実

団体の活動拠点施設である、市民交流センター、各地区公民館や地区福祉センターが、市民活動団体や地域団体にとってより一層使いやすい施設となるよう施設の管理運営を行います。

市民活動の支援拠点施設である市民活動センター、生涯学習ボランティアセンター、社会福祉協議会ボランティアセンターにおいては、施設同士の連携を強化し、情報提供、相談・コーディネート、人材・団体育成などの支援機能の充実を図ります。

(修正後)

(1)市民活動の拠点施設と支援機能の充実

市民活動を支援する拠点施設である市民活動センター、生涯学習ボランティアセンター、社会福祉協議会ボランティアセンターが、市民活動団体や地域団体にとってより一層使いやすい施設となるよう施設の管理・運営に努めるとともに、これら各拠点施設の担当者同士の交流を密にして、施設間の連携強化を図ります。